

## お客様紹介

# 東西オイルターミナル株式会社 境港油槽所 様

〒684-0034  
鳥取県境港市昭和町2  
TEL 0859-42-4311  
FAX 0859-42-4314

境港油槽所は山陰両県で最大級の石油基地です。石油元売会社様の石油類を扱い、年間110万KL(ドラムで550万本)の石油類を鳥取県全域と島根県東中部に出荷しています。

「安全第一、次に品質管理を徹底している」と、大石所長は力説されます。安全であることは必須で有り、品質に関しても、石油元売会社様の製品を預かって品質を下げることなく、お客さま先へ届けなければなりません。

平成21年度に新境港油槽所が統合され、業務及び設備が約2倍以上になり、広域に管理しなければならなくなりました。「實繁(さねしげ)主任、松本主任が二本柱となって働いてくれ、大変頼もしい。安心して任せられる」と、大石所長から太鼓判をいただきました。

大石所長ご推薦のお二人にお話を伺いました。

### \* 品質管理・安全推進担当

實繁(さねしげ)主任

「石油類をタンカー船から屋外貯蔵タンクに受入し、主にタンクローリーで出荷していますが、正常なものを品質管理して正常な形で出荷、しかも無事故で出荷することにやりがいと責任を感じます。

日々心がけていることは自分自身が事故を起こさないこと。これは自分自身の骨折やケガなども含め、一人一人が事故を起こさないことを意識し、所員全員が作業を行っています。これからも、受入時、出荷時とも安全・品質管理を徹底



以前、九州で勤務したことがありますが、工業者等の方山陰地区だけでなく九州にも繋がりができたと感じます。



し、皆さんに信頼される仕事をしていきたい。」

\* 設備管理担当  
松本主任

「境港油槽所は、山陰地方に年間110万KLの燃料油を出荷している基地です。油槽所の補修計画・施工管理をすることによって、基地が変わりなく運営されていることにやりがいを感じます。

設備担当者になった当初、小さな失敗をして(事故には至らず)、悔しくて原因を深く追求しました。その時のことを常に記憶に残して、考えながら業務にあたっています。今でもその失敗を教訓としています。また、設備改修工事で、タンクローリーの乗務員さんの要望を取り入れた改修を行い、「使い勝手が良くなった、操作が楽になった」と好評をいただいたこともあります。それが結果として安全に繋がっており、自分自身もたいへんうれしく感じます。

境港油槽所・新境港油槽所が統合して、人員の縮小により所長を含め13人体制になりました。しかし、統合前より、精度の高いメンテナンスをしていきたいと思っているので、やりがいがあります。現状に満足せず、改善を意識しながら業務を推進していきたい。」

私ども山陰興業は、このような安全意識の高い会社で作業させていただき、大変誇りに思います。ここで学び身につけたことを会社の財産として、残しておく必要があると感じます。

(聞き手長野)



6月1日、地震によってオイルタンクからの出火を想定した災害訓練がありました。油槽所の自衛消防隊と境港消防署が連携して行われました。このような大規模な訓練は毎年開催され、皆さん機敏な動きです。

## 「クレーム対応の重要性について」

鳥取営業所の避雷針設置工事をS社に依頼した。事前の打ち合わせで施工確認をしていたこともあり、現場には立ち会わなかった。施工が無事終わったとの報告を受け、翌日現場確認を行った。

「あれ! 違う!」一瞬自分の目を疑ったが、設置場所が違っていた。その日は祭日であったが、慌てて河上部長に電話したが繋がらない。休みを承知でS社に電話を入れた。誰も出ない。留守電に繋がったが、何も言わずに切った。

すると数分後にS社の当直の方から電話があった。伝言も入れずに切ったにもかかわらず、折り返し電話してくれたのである。「助かった!」と思い、事情を説明した。その後、河上部長からも連絡があり、事情を説明して関係者に連絡を取ってもらった。出雲から4時間掛けてS社の担当者の方が現場に駆けつけてくれた。岡山の施工業者も、その日のうちに施工を完了してくれた。

お陰で、翌日の完成検査は無事終わり、許可を頂くことが出来た。祭日にも関わらず、遠方から駆けつけて対応してくれた担当者様、休日返上で施工してくれた施工業者様、休日のクレームに対して、まさかここまで素早い対応をして頂けるとは思っていなかったため、施工ミス責めることよりも、感謝の気持ちが湧いてきた。クレーム対応の重要性を改めて教えられた。(安原)

## コーヒーブレイク

### ~ 夏休みの自由研究 ~

皆様、ほっと一息つきませんか。いま子ども達は夏休みの真っ最中です。夏休みの自由研究は何をお考えですか?

- 当社社員に聞いてみると、
- ・定番の朝顔の観察・貝割れ菜の生育観察
- ・パン作り、エプロン製作
- ・昆虫採集
- ・科学実験~凍結時間調べ

水・酢・酒・醤油・ケチャップ・ソースをゼリー型に入れ、それぞれ凍結する時間を調べる。家庭にある材料のできるので好評

ちょっとおもしろい実験があります。それは、水を張った水槽に油を落とし、吸着マットで吸い取らせる実験です。これは、以前、産業市でやりました。吸着マットにも数種類あり、ペーパータオルや布切れでやってもいいかもしれません。吸着マットの見本希望の方は当社長野までお問い合わせ下さい。

### 松江フォーゲルパーク情報:

次のようなワークショップが開催されています。工作の課題に応用できるかも...

キャンドル作り・消しゴムハンコ作り 8/25(土),26(日)

(有料です)



## 「下座に生きる」を 読んで



この本は作者が人生を送ってきたなかで、出会い心に響いた名言をまとめたものです。出てくる人たちは、中村天風、安岡正篤、マザーテレサなどそうそうたるメンバーです。

その中でも作曲家「野口雨情」の「しゃぼん玉飛んだ、屋根まで飛んだ~」とつづくこの童謡は、二歳にならずに亡くなった娘を想い書かれたものです。その歌の背景を知ってから改めて歌詞を読むと、全く違った意味を感じます。「野口雨情」はこの他にも数多くの歌を作って残しており、今日もこうしてお父さんは頑張っているよと言っているようで、心に迫ってきます。とても感動しました。(高橋)

## 元氣の出る言葉

中村天風師

自分のことをよくよくと同一気持ちで他人のことをよくよくとあげてみる

好き嫌い無く生きていくのはとても難しいことです。しかし、自分のことをするときと同じ気持ちで他人のことをしてあげることと本書で説いています。また、絶対に他人に迷惑をかけてはいけません。常に誠心誠意、相手を想って行動することだと(長野)



ワルナスビ。茄子に良く似た花が咲き、茎にとげがあります。コンクリートの隙間から芽を出すほど強い雑草です。

社長が薦める今月の一冊  
君の思いは必ず実現する  
稲盛和夫著 財界研究所刊



8年前に感動して読んだ本を、もう一度読み返しました。稲盛さんは「21世紀の子供たちへ」とサブタイトルを付け、「人生に迷ったときぜひこの本を読んでください」と訴えています。

稲盛さん自身が、小学生の頃家が貧乏でかつ、「学校には行かない」と泣き出すぐらい内弁慶。一方やんちゃな面もあったと自認される。その上第一志望の大阪大学の医学部を受けるが失敗、やむなく志望校ではない大学を卒業。就職するも思い描いた実社会ではない。そんな多難な人生をスタートされた。

「私の前半生は挫折の連続であり、何をやっても全くうまくいかない日々が続いていました。しかし物事がうまくいかない状況というのは、自分自身を高めていくために与えられた試練だった。またそのようにつとめることで、能力も無限に伸びていくのです。(P68)」

その後京セラを興されて、懸命なご努力の結果、世界的な企業へと成長させる。そしてKDDIを設立し優良な会社になる。つい最近では瀕死のJALを再上場へと導かれる。

この本では経営論を披露されるのではなく、天風哲学と利他の精神を根底にする稲盛哲学の「人を育てる」を教えていただける。私は人の育成に心血を注がれる稲盛哲学をさらに学びたい。(山根)



オカトラノオにとまったヒョウモンチョウ。

### 今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡しただけでも結構です。正解者の中から抽選で**1名様に二十世紀梨**を差し上げます。クイズの締切は8月末です。奮ってご応募下さい。

Q：8月4日から、鳥取県で国際まんが博が開幕しました。鳥取県輩出の著名な漫画家を3人答えてください。



先月号の答は、「島根県物産館(2階)」でした。雲南市 矢壁様、米子市 角様、東京都 桜井様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

発行日：毎月10日  
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20  
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472  
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野  
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp  
印刷：授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

### 蔵書新着情報

- ・君の思いは必ず実現する 稲盛和夫 財界研究所
- ・はじける知恵(中学生までに読んでおきたい哲学) 松田哲夫 あすなる書房
- ・いのちの設計図(お母さんが話してくれた生命の歴史2) 柳澤桂子 岩波書店
- ・進化する生き物たち(お母さんが話してくれた生命の歴史3) 柳澤桂子 岩波書店
- ・失敗の本質 鈴木博毅 ダイヤモンド社
- ・日経ビジネス(週刊) 6/4,6/11,6/18,6/25号 日経BP社
- 経営新潮流 コマツ 坂根正弘の経営教室
- 6/4 「ダントツ経営」への道 「ないと困る」会社を目指せ
- 6/11 「見える化」が強くなる 本質見極める力を養え
- 6/18 超円高に負けない生産 日本の強みをフル活用
- 6/25 世代を重ねて進化する 有言実行が強さ生む

### 編集後記

鳥取営業所外周のフェンス内に植栽することになり、智頭町森林組合に相談させて頂いた。当地は、智頭どうだんが有名だ。春には可憐な花を咲かせ、秋には紅葉し、四季を通じて鑑賞できる。しかし、管理が難しいということだ。地元の方に見て頂くためにも、馴染みのある植物で、その環境に適した植物でなくてはならない。花が咲けば、人の心も和み、葉っぱの色の変化も季節感を感じさせてくれる。森林組合の方がとても親切に教えてくださり、こころ強い味方を得た気分でした。(長野)

**原稿を公募します** 本誌の原稿を公募します。800字~1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。

# ECO'S 通信

2012  
8月  
Vol.231



『感動』

## 歓喜の初荷卸し



河野神社の河野宮司様により、祝詞を頂戴しました。「山陰興業がこの地に根付き栄えること」を。

「シュワシュワシュワ・・・」という原料の流れる音を聞き、皆、心躍りました。



河野宮司様より、綵花(さいか)という火退けのお守りもいただきました。今後この営業所をお護りいただき、繁栄を祈念していただけたと思います。

7月24日、待望の鳥取営業所タンク設備が完成し、竣工式を迎えました。そして、大國リーダーの手により、屋外タンクへ初荷卸しが行われました。皆がそれを見守り、拍手と歓声が沸き起こりました。待ちに待ったこの瞬間です。

しかし、今日に至るまでは苦難の連続でした。仮設事務所に壊れかけたファンヒーター1台あるだけのゼロからのスタートでした。また、大雪が降って車が動かせなくなり、車中で泊まったこともあります。

大國リーダーは終始にこやかに、「これからは本番です。すぐにタンク一杯にしてみせます。」と宣言しました。

皆こころに誓いました。「困ったときは、山陰興業さんに言えばなんとかしてくれる」と、地元の方からいっていただけるように、地元と密着度を高め、信頼される山陰興業になります。

「やっと新しいタンクに油が入ってうれしかった。今後、原料をどんどん入れてもらって、出雲から大型ローリーでの引き取りが増えたらいいな」(タンク製作した藤原)

「無事に完工することができ安心した。タンクが、早く原料で一杯になってほしい。もう1基分の基礎もできており、図面もある。2基目が早く作れるようになってほしい」(タンク製作した鎌田)

(聞き手長野)



## We Love とっとり We Love さんいん

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

念願の鳥取県智頭町に私たちの新しい営業拠点が出来ました。7月24日午前10時神事による御祓いがすんだ後、貴重な資源である最初の一滴が、大國リーダーの手により新しいタンクへ注入された瞬間、全員から大きい拍手と歓声が上がりました。

ライトグリーン色のタンクが、緑豊かな智頭の山々に抱かれてスックと立っている姿は、早くもこの地に馴染もうとする気持ちを表していると感じたのは、私ばかりではないと思います。

そもそも鳥取、智頭への進出計画は、大國リーダーが励みの会で自分の決意を発表し、会社から承認されたことから始まりました。目的は「地域密着度を高めて、完全な地元業者になる」です。

彼の立てた目標は、出雲・松江地区と同様、

- ・何かあった時は「やっぱり山陰興業だね」と一番最初に思い出してもらえるようになる。
- ・ライバルが来た時「山陰興業は地元だから」と

断ってもらえるようになる。

- ・さまざまな分野の数多くの企業や人と強い縁を作る。
- ・環境、雇用、納税などで、地域社会に貢献する。

結果、自分自身、他の社員、地域の人々・企業・行政が、お互いに密着した感覚を持てるように、We Love とっとり から We Love 地元 に進化させる。それが彼の夢です。

もともとこの土地の借用も、自動車ディーラー様とのご縁から始まった上に、すぐに新しい地元有力者様との強いご縁ができました。「ご縁を大切にす」という私たちの理念の正しさを認識しています。

これから、会社あげて「We Love 地元 We Love とっとり We Love しまね そして We Love さんいん」を進め、地域社会に貢献し、この地域から強く強く必要とされます。

### 私はこう考え、こう実行します

【安原】とっとりでの人脈を増やし、縁を広げます。

【松下】お客さまとのご縁を大切にします。

【河上】鳥取営業所の環境の整備のお手伝いをします。

【岸本】今までのご縁を大切に、さらにご縁をひろげていきたいと思っています。

【福間】常に目的を忘れない。

【福島】お客さまとのご縁を大切に。

【木村】地元貢献する。

【吾郷】地元業者であることをもっと意識してお客さまと接します。

【大國】もっともっと鳥取について学ぶ。

【木村憲】ご縁を大切にします。

【石橋】お客さまに信頼され、安心して任せてもらえる仕事をします。

【榎並】お客さまとのご縁を大切に、皆で協力して安全作業を行います。

【岡田】地元に愛し、そして地元の人たちに愛される社員になります。

【山口】私はお客様に山陰興業を好きになってもらえるような仕事をします。

【松本】地域からお客さまから強く必要とされる人と会社になります。

【横地】毎日の収集先で会うお客さまとご縁を大切に、そこから新しいお客さまとご縁が生まれる様、努力します。

【植尾】人と人とのつながりを大切にします。

【高橋】五感を使って研究開発を行います。

【長谷川】地域密着で地域社会に貢献します。

【恩村】縁を大切にしていけます。

【小村】地元業者と仲良く、強い「きずな」を作っていきます。

【藤原拓】お客様に気持ち良く廃油を入れていただくタンクを作ります。

【藤原大】私も、地元貢献できる様、一生懸命仕事をします。

【金森】ご縁を大切に、必要とされる社員になります。

【加島】人にやさしく、自分に厳しく行動したいと思います。

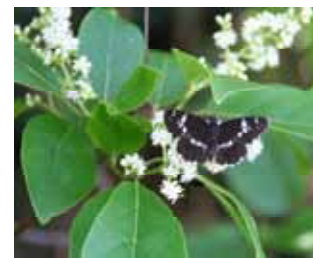
【中村】現場にて、整理、整頓、清潔、清掃、安全（KY）を徹底し、安全作業が出来る様常にチェックし、作業を実行します。

【清水】私は、地域を愛しこれからは地域を想いながら作業します。

【足立】私は常に「ご縁」と「地元」を意識して電話をとります。

【長谷川真】We Love とっとり に少しでも力になれるよう頑張ります。

【長野】エコス通信が智頭の人々に馴染んでいただけるように、配布を拡げていく。



チシャノキに蝶が留まっています。



## ありがとう 124号車、 お疲れ様でした！

124号車は、平成2年5月29日に初登録され、47万キロの距離を走り、8月4日をもって、勇退しました。河上部長が購入手続きをした、新車で大型タンクローリーの第一号です。当時は、広島市や山陰両県のお客様先へ再生燃料油の配達に走りました。近年は、松江営業所から本社へ原料の移送に使われていました。

「22年間、トラブル無く、よくやってくれた。」と、河上部長は感慨深く当時を振り返りました。

8月4日、松江営業所から本社への原料移送が最後の仕事になりました。124号車、ありがとう！！



いよいよ勇退となる車輛の運転をする木村社員。最後までご安全に！



## 職場体験

出雲養護学校高等部3年の今岡君が職場体験にきました。

夏場の屋外での作業のため、初日はかなりきつかったようです。途中気分が悪くなることもありましたが、水分をしっかりとってしばらく休憩した後は、元気になり、日を追うごとに仕事も楽しくなってきました。お客様先でボイラー掃除なども体験しましたが、そのボイラーの蓋をスパナを使ってネジを締めたことが印象に残ったようです。

今後の学校生活では、暑さに負けない体力をつけてほしいと想います。



今岡君は、屋外での作業で、初日はかなり厳しかったです。



## 松江市消防音楽隊演奏会

松江市消防音楽隊後援会でミニコンサートがありました。

当音楽隊は、昭和54年12月に発足しました。消防業務が高度化・複雑化する中、業務の合間をぬって練習されています。

全国約800の消防署のうち、音楽隊があるのは約150箇所であり、松江のような地方都市で継続できているのは大変誇りであると坂本隊長がおっしゃいました。地域住民との架け橋として、今後も積極的に活動していきたいと心強いお言葉をいただきました。

今回の演奏会では、昨年12月に完成した「松江市の歌」が披露され、城下町松江の四季を感じることができました。(長野)



夏仕様にポロシャツを新調され、若々しく涼しげな印象でした。



## 5S活動

～工場内の改善～

コーティング塗料で工場内を塗装しました。油污れも落ちやすくなりました。床面に色をつけることで、油污れが目立ち、すぐにきれいにしたくなります。

また、工場試験室内から5S活動を始めました。時間と場所を決め、要る物要らない物に分け、要る物については見える化(表示など)をして棚の下段から整理しました。

次回は8月の工場メンテ日に合わせて行う予定です。木村リーダーからも「整理したので広がった」との感想が聞けました。

(松下)

